



〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山 867

社会福祉法人 土佐希望の家

幡多希望の家医療福祉センター

TEL ◆ (0880)66-2212 FAX ◆ (0880) 66-2215

HP ◆ <http://www.hatakibou.jp/>

Mail ◆ hataki01@mb.gallery.ne.jp

<発行所> 幡多希望の家医療福祉センター

<発行日> 2022年5月1日 <発行責任者> 河原 敏郎

福祉施設における SDGs

社会福祉法人 土佐希望の家 副理事長；小椋 茂昭



前月号で予告しておりました通り、社会福祉法人（以下、法人）「幡多福祉会」は、2022年4月1日に、法人「土佐希望の家」と合併いたしました。この合併により、法人名は「社会福祉法人 土佐希望の家」として統一され、施設名は「幡多希望の家医療福祉センター」と改名されました。新組織となったこの日、前幡多福祉会理事長であった立場から、当施設の歩みを振り返り、新たな出立に当たっての所感を述べたいと思います。

明治以降、日本の福祉事業は、多くの先達たちの篤志的な努力によって始められました。そして第二次大戦後には、日本国憲法の精神を踏まえて、「児童福祉法」「児童憲章」、さらには「子どもの権利条約」「老人福祉法」「母子福祉法」など各種福祉法が整備されてきました。特に1948年に国連で採択された「世界人権宣言」には『全ての人間は生まれながらに“基本的人権”を持っている』と規定され、『(障害者を含め)全ての人はいかなる差別も受けることなく、人として尊重されなければならない』との条項が明記されました。「世界人権宣言」は崇高な理念に基づき、人類史上初めて公式に“基本的人権”を認めた画期的な宣言です。

いま、脱炭素化社会に関連して、SDGs (Sustainable Development Goals) の言葉が世に流布し、『持続可能な開発目標』と訳されています。SDGs の言葉は2000年の国連ミレニアム宣言(MDGs)を基に、2015年に国連の全加盟国が合意した「2030 アジェンダ」に初めて登場します。即ち2030年を達成年限とした、経済、社会および環境における17の目標が掲げられています。その中の1つに、弱い立場の人や障害者を護る『誰一人取り残さない持続可能な社会』の実現を世界共通の目標としています。

人は、事業や運動を開始する時には大きなエネルギー (Energy;以下 En と略) を発揮しますが、往々にしてその En の維持が難しく、事業や運動が縮小したり頓挫してしまうことがあります。もし En が維持されるならば、その事業や運動は社会の中で力強く伸びていきます。幡多福祉会も創設期には多くの人の En を結集して始めましたが、残念ながら、今その En は小さくなっているように思えます。

では福祉事業を持続可能ならしめるためには、どのようなことが必用なのでしょう。第一には、福祉施設を地域社会の重要な公器として認識することです。第二に、福祉施設といえども事業の持続のためには、組織としての健全な経営を必要とします。その中では、少子高齢化等の社会構造の大きな変化にも対応していかなければなりません。しかし私は、上記2つのこと以上に大切なことは、「世界人権宣言」にもある『障害者を人として尊重する』ことを心の中に刻み、これを繰り返し思い起こし対応していくことではないかと思えます。その心を持ち、多くの職種の職員が協力して利用者さんを支えることができれば、職業人としてモチベーションが高められ、ひいては持続可能な福祉施設の発展に繋がるものと考えます。

この新たな出立の時、皆さまには、短い文章ですので「世界人権宣言」や「2030 アジェンダ」を読まれ、あるべき『人と社会の在り方』を考えてみられるようお勧めします。そして、幡多希望の家医療福祉センターが今後も幡多地域の心身障害児(者)を護る砦であり続けていって欲しいと願います。

さくらんぼだより

書初め



新年あけましておめでとうございます。
今年の目標や大好物、大好きな人など、
みんなで思い思いの書初めをしました。



今年も良い年になりますように！

<在宅支援・成子>

訪問介護事業の閉鎖にあたって

平成19年に幡多地域に暮らす障害のある方に対して、在宅生活の下支えとして訪問介護事業を開業いたしました。開設当初は介護保険の訪問介護事業も行っていましたが、平成30年度からは障害に特化した訪問介護事業として、様々な障害を抱える利用者様に訪問させていただきました。開設から15年の間には、障害がどんなに重くても自宅で生活する利用者様の満面の笑顔を見せていただき、ご家族様の愛情の深さや思いは深くかけがえのない物であることも教えていただきました。反面、在宅ならではのご苦労話を聞くこともありました。在宅サービスが、なかなか行き届かない田舎での介護は、本当に想像を絶するものだと思います。

最後に、利用者の皆様には、長らく幡多希望の家訪問介護事業所をご利用して頂き感謝申し上げますとともに、事業閉鎖においてはご理解頂きましたことを心より感謝申し上げます。今後何かお困りな事がありましたら、幡多希望の家相談支援センターに何なりとご相談ください。本当にありがとうございました。

<在宅支援・岡村>



今まで
ありがとう
ございました!



令和四年一月十六日、武内和志さんの成人式が当施設にて執り行われました。

当施設での成人式は二年ぶりの開催となりました。新型コロナウイルスが巷で猛威を振るう中で、なんとか開催できればとご家族の強い思いを受け、実行委員が中心となりプロジェクトはスタートしました。実行委員のリーダーとして音頭を取るのはまだ当施設職員としては経験の浅い私でしたが、他の職員の強力なサポートのおかげで少しずつ計画は進んでいきました。また和志さんは入所される前は通園を利用されていたこともあり、通園職員の方々も積極的な協力を申し出てくれました。準備から当日までまさに施設一丸となって取り組んだ成人式でした。

当日は快晴。コロナ禍ということもあり、参加者はご家族と当施設関係者十数名のみとなりましたが、小規模ならではの和やかでアットホームな雰囲気の中、式は開催されました。

式のハイライトは何と言っても、ご家族からお預かりしたお写真を福山雅治さんの名曲「道標」に合わせて一つの動画にしたものを上映した際でした。和志さんの成人への歩みとなる写真が一つまた一つと映し出されていくにつれて私を始め会場の皆様方の目から涙がこぼれ、会場全体が感動に包まれていく様子は非常に感慨深いものでした。

式開催に当たって未熟な私の不手際で、多くの方々にご迷惑をおかけすることとなりましたが、ご家族のご理解と理事長をはじめとする様々な方々のご協力により無事に式を遂行することが出来ました。この場をお借りして皆様には厚くお礼を申し上げます。

最後に武内和志さんらびにご家族様、改めましてこの度は成人、まことにおめでとうございます！！

<生活支援・藤田>

武内和志さん祝

成人



新人紹介



中上 暁絵さん

○抱負

1人の看護師として認めてもらえるよう、日々努力。仕事と家事の両立をし、四万十はFEを楽しみます☺

○趣味

特にありませんが、波の音と星を見るのは好きです。



尾崎 美奈さん

○抱負

施設の事は初めてですが、地道に頑張ります。

○趣味

読書・映画鑑賞・推し活



森 啓寛さん

○抱負

相談員の仕事は初めてですが、様々なことを勉強しながら、成長していきたいと考えています。

○趣味

自転車、写真、釣り

寄付のお礼

ラッシュバイ・パチコ様（宿毛市）より寄付金をいただきました。ラッシュバイ・パチコ様は、平成12年から20年以上にわたり、毎年ご寄付を下さっています。

写真は当施設の理事長が感謝状を贈った所です。

ラッシュバイ・パチコ様ありがとうございました。



嵐仁美様から、電子レンジのご寄付をいただきました。ご寄付いただきました物品は、当施設の事業にて活用させていただきます。嵐様ありがとうございました。



編集後記：

新緑の美しい季節になってまいりましたが、皆様どのようにお過ごしですか。新型コロナウイルスの流行は第7波が来るといわれています。感染力の強い変異株が現れていますが、手洗い、マスクの着用、換気といった基本的な感染予防対策を行うことに変わりはないので、引き続き取り組んでいきましょう！

<相談支援・森>